

新幹線情報

2009年 4月24日
第10号

J R 東海 労新幹線地本

だんまいを押し通す「東海ユニオン役員」！！

4月12日 東京第一車両所構内で発生した「手歯止め割損」事故に対し、東京車両所の日報では「構内操縦者が組替線～着発線に転線後1号車に手歯止めを装着したことにより手歯止めを割損した。」と報告しています。これは、構内操縦者が全面的に「非」があるような書き方です。構内操縦者は正しい作業をしたにも拘らず管理者の連絡のミスから「割損」事故を発生させてしまったのです。このことに対し「東海ユニオン役員」は何の情報も出していないのです。東海ユニオンの組合員が正しい作業を行っているのに、会社からは事情聴取が繰り返されたり、仕事中でもあっては管理者からひとことふたこと言われたりして、本人は相当不安定な状態だと思えます。このような中で「会社の安全」に対する問題などを取り上げない「東海ユニオン役員」は労働組合役員と言えるのか・・・？

養殖組合の本性をついにあらわした「JR東海ユニオン役員」！！

会社が、必要に事情聴取を行ったり管理者に仕事中〇〇〇と言われて、その組合員は安全な作業が出来るのでしょうか？ これらのことに対して労働組合はハッキリとした態度を示さなくてはいけないと思えます。しかし、「東海ユニオン東京第二車両所分会役員」は何をしているのでしょうか？

職場などでは、東海ユニオン組合員同士が「会社がおかしい」と言っている、しかし労働組合の役員は組合員を守る為に何をしたのでしょうか？ 現場では組合員に都合のいい話をしながら、会社と手と手を握り合っているのです。まさしく「養殖組合」＝東海ユニオン役員だ！！

「服従」と「忠誠心」では、安全は守れない！！

労働組合の看板を掲げている以上は、「会社の安全に対する姿勢」に間違いがあれば正すのが労働組合です。そして組合員を守り生活の向上を求めるのが労働組合です。以前、労働組合運動を最先頭で闘っていた〇〇管理者とか〇〇組合役員はすでに分かっていることと思えますが！！

葛西会長の好きな「服従」と「忠誠心」では組合員は守れないし労働者の生活も守れません。現に働いても働いても賃金はサッパリ上がらない状況です。会社にゴマをすり「服従」と「忠誠心」とやらで、裕福になっている「東海ユニオン役員」が殆どでしょう。・・・

安全作業のために「手歯止め割損」の事実関係を早急に社員に明らかにせよ！！

現場は働く私達労働者が主人公です。共に頑張りましょう！